

■羽仁五郎 歴史哲学者。戦時下に反ファシズムの"羽仁史学"で影響、全共闘シンパとして「都市の論理」がベストセラーに。
はにごろう
田中正造直訴1901＝ 群馬県桐生で、地元の有力な織物業者で第四十銀行の創立し初代頭取となった森宗作の五男に生まれる。

日露戦争終・1905＝ 4歳：

韓国併合・・1910＝ 9歳：

明治天皇没・1912＝11歳：
本格政党内閣1913＝12歳：桐生北尋常小学校卒業。上京して、東京府立第四中学校に入学。

厳しい規則と詰め込み主義の学校を批判し、停学処分を受けるなどした。

本格政党内閣1918＝17歳：第一高等学校独法科に入学、
べ 羽仁条約・1919＝18歳：

原敬首相暗殺1921＝20歳：東京帝国大学法学部に入学するも、ドイツ留学を希望して中退し渡欧、
水平社結成・1922＝21歳：ハイデルベルク大学でH.リッケルトに歴史哲学を学び、
護憲三派圧勝1924＝23歳：留学中、糸井靖之・大内兵衛・三木清と交流し、現代史・唯物史観の研究を開始。
円本時代始・1926＝25歳：クローチェの歴史哲学を知り、イタリア旅行中に生家を訪れるも扉を叩かず、ファシズムの台頭を見つつ
金融恐慌・・1927＝26歳：帰国。東大史学科に再入学。在野の哲学者であったクローチェの影響を色濃く受け、
共産党事件・1928＝27歳：羽仁もと子の長女説子と結婚し、羽仁姓に改姓。クローチェ「歴史叙述の理論及歴史」を翻訳・出版し、
世界恐慌・・1929＝28歳：「佐藤信淵の基礎的研究」を書いて卒業。東大史料編纂所嘱託となるが、
満州事変・・1931＝30歳：*日本最初の普通選挙で応援演説をしたことで問題となり辞職。日大教授となり、史学科を創設。三木清と
五一五事件・1932＝31歳：雑誌{新興科学の旗の下に}創刊。{岩波講座世界思潮}を共同編纂。
国際連盟脱退1933＝32歳：「転形期の歴史学」。プロレタリア科学研究所の創設に参加。
芥川賞始1935＝34歳：「歴史学批判叙説」。*{日本資本主義発達史講座}刊行に野呂栄太郎を助けて尽力、「幕末に於ける社会経済状
二二六事件・1936＝35歳：態」で壮大な明治維新観を樹立、
日中戦争始・1937＝36歳：治安維持法違反に問われ検挙され、日大教授を辞職。強制的に虚偽の「手記」を書かされ、釈放。

第二次大戦始1939＝38歳：「クロオチェ」「ミケルアンジェロ」。
大政翼賛会・1940＝39歳：「反ファシズムの立場から多くの著作を発表、感銘を与えた。」
日米開戦・・1941＝40歳：「明治維新研究」、
超歴史的な普遍的存在としての"人民"の観念は羽仁史学として、知識人、学生に大きな影響を与えた。

年金+総武装 1944＝43歳：説子とともに北京生活学校へ行き、
敗戦・・・1945＝44歳：憲兵に逮捕され、東京に送還されて警視庁に留置中、<敗戦>となって釈放された。
新憲法公布・1946＝45歳：「歴史教育批判 児童の歴史観とその表現」。*歴史学研究会再建に努め、「明治維新 現代日本の起源」刊行、
新憲法施行・1947＝46歳：「チョコンダの微笑」「青年にうつたう」「歴史」。
極東裁判決・1948＝47歳：「ヒウマニズムと文化革命」「氏族社会」「生と死について」。
三大事件・・1949＝48歳：第一期日本学術会議会員に当選。「東洋における資本主義の形成」刊行、
朝鮮戦争始・1950＝49歳：「日本における近代思想の前提」「国民に訴う 国会からの報告」「都市」。
独立回復・・1951＝50歳：翌年にかけて「羽仁五郎選集」、
メーデー事件・1952＝51歳：「百万人の世界史」「日本人民の歴史」「つねに若く美しく」「国民は知る権利がある」、
自衛隊発足・1954＝53歳：「イタリア社会史」「破防法といかに闘うか」、
55年体制始・1955＝54歳：「東と西と」、
国連加盟・・1956＝55歳：この年で参議院議員終わる。「この十年 知られざる歴史は語る」「明治維新史研究」「国会 占領下、政治家は何をしているか」、

安保闘争・・1960＝59歳：

晩年は、新左翼の革命理論家的存在となり、

東京リベラ 1964＝63歳：大学紛争が盛んになるに従い、全共闘系の学生を支援、
いざなぎ景気1966＝65歳：「私の大学～学問のすすめ」、
美濃部都知事1967＝66歳：「羽仁五郎歴史論著作集」全4巻、
霞ヶ関ビル・1968＝67歳：「都市の論理」を刊行して、ベストセラーになる。
全共闘・・1969＝68歳：「理性の抵抗」、
大阪万博・・1970＝69歳：「人間復権の論理」「悪法と国民の抵抗」「自由としての人間」「ヨオロッパの大学に行く」、
ドルショック・・1971＝70歳：「日本軍国主義の復活」、

石油ショック1973＝72歳：「アウシュヴィッツの時代」、
角栄金脈辞任1974＝73歳：「黙示録の時代」、

田中角栄逮捕1976＝75歳：「自伝的戦後史」、

成田衝突・・1978＝77歳：「自己発想の方法 自分の頭を持っているか」、
革新大敗北・1979＝78歳：「主権八人民ニアリ」「教育の論理 文部省廃止論」「羽仁五郎の大予言 いかにして21世紀に生き残るか」、

・・・・1981＝80歳：「図書館の論理 羽仁五郎の発言」。翌年にかけて「羽仁五郎戦後著作集」全3巻。
中曽根内閣・1982＝81歳：「君の心が戦争を起こす 反戦と平和の論理」、
ドイツ・1983＝82歳：「青春の証言 今、これだけは言っておきたい」。肺気腫悪化のため、_没した。

インターネットWikipedia、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、